

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第3996998号
(P3996998)

(45) 発行日 平成19年10月24日(2007.10.24)

(24) 登録日 平成19年8月10日(2007.8.10)

(51) Int. Cl.

F I

B 6 5 D 85/57 (2006.01)
G 1 1 B 23/03 (2006.01)B 6 5 D 85/57 C
G 1 1 B 23/03 6 O 1 Z

請求項の数 2 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-90208
 (22) 出願日 平成10年4月2日(1998.4.2)
 (65) 公開番号 特開平11-292178
 (43) 公開日 平成11年10月26日(1999.10.26)
 審査請求日 平成17年3月28日(2005.3.28)

(73) 特許権者 592139854
 図書印刷株式会社
 東京都港区三田五丁目12番1号
 (74) 代理人 100111372
 弁理士 津野 孝
 (74) 代理人 100107434
 弁理士 樋口 和博
 (72) 発明者 小田 浩司
 東京都港区三田五丁目12番1号 図書印
 刷株式会社内

審査官 渡邊 真

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ディスク用ホルダ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

のど部で折り曲げ可能な表表紙及び裏表紙と、

前記表表紙及び裏表紙の一方の1つの縁部に連設され、該縁部に隣合う他の縁部に被着されて前記表表紙及び裏表紙の一方との間で袋体を形成する折り返し片とを有し、

前記被着された折り返し片が、該折り返し片の自由縁部に対向して収納品に当接する横動拘束当接縁と、前記横動拘束当接縁に当接した前記収納品に当接するように離間対峙させた縦動拘束当接縁とを形成した切り込みを有し、

前記自由縁部に前記収納品の少なくとも一部を覆う折り返しカバーが連設されており、

前記折り返しカバーを閉じたとき、前記収納品が、前記横動拘束当接縁と縦動拘束当接縁と折り返しカバーとにより保持されることを特徴とするディスク用ホルダ。 10

【請求項2】

前記折り返し片の縦方向長さが前記表表紙及び裏表紙の一方の縦方向長さより短く、前記折り返し片が前記表表紙及び裏表紙の一方の下縁に連設されるとともに前記表表紙及び裏表紙の前記一方の側縁に被着され、前記切り込みが前記折り返し片の上縁に隣接して設けられていることを特徴とする請求項1記載のディスク用ホルダ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、矩形のディスク、円形ディスク、又は、ディスク用ケース(以下、「収納品」 20

」という。)」を経済的且つ確実に収納することができるディスク用ホルダに関する。本発明は、特に、電子媒体としてミニディスクに代表されるディスクをそのまま収納するのに適している。

【0002】

【従来の技術】

従来のディスク用ホルダとして、特開昭61-127475号公報に記載されるように、二重の折畳みカバーを2つ折りに成形し、折畳みカバーの見開き一方に切り欠き溝を形成して、ディスクを切り欠き溝で支持するものがある。そして、このディスク用ホルダは、二重の折畳みカバーの間に一方の側縁開口から物品を収容することができるようになっている。

10

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記ディスク用ホルダでは、ディスクの横方向移動が拘束されていないので、ホルダ内にディスクを保持しておくことが確実でなく、運送中や持運び中にディスクがホルダから落下する危険がある。電子媒体のような精密機器では、落下によって機能が破壊されことがあるので、ディスク用ホルダ内で確実に保持しておく必要がある。

また、ディスクが外部に露出しないように、二重の折畳みカバーの見開き面に切り欠き溝を形成しているため、ディスクを切り欠き溝に挿入する際、溝を大きく開かねばならず、ディスクを装着することが極めて面倒である。

さらに、側縁開口から物品を取り出す方向と、ディスクを取り出す方向が同じであるため、例えば、収納物を取り出す際にディスクが落下する危険もある。

20

【0004】

本発明の主たる目的は、上記収納品の移動を拘束して確実に保持収納するとともに、衝撃等からも収納品を保護するディスク用ホルダを提供することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は、のど部で折り曲げ可能な表表紙及び裏表紙と、前記表表紙及び裏表紙の一方の1つの縁部に連設され、該縁部に隣合う他の縁部に被着されて前記表表紙及び裏表紙の一方との間で袋体を形成する折り返し片とを有し、被着された折り返し片が、該折り返し片の自由縁部に対向して収納品に当接する横動拘束当接縁と、前記横動拘束当接縁に当接した前記収納品に当接するように離間対峙させた縦動拘束当接縁とを形成した切り込みを有し、前記自由縁部に前記収納品の少なくとも一部を覆う折り返しカバーが連設されており、前記折り返しカバーを閉じたとき、前記収納品が、前記横動拘束当接縁と縦動拘束当接縁と折り返しカバーとにより保持されるディスク用ホルダにより、前記課題を解決したものである。

30

【0006】

【作用】

本発明によるディスク用ホルダでは、まず、表紙を開いた状態にする。折り返し片は、表表紙又は裏表紙に設けられており、表紙の見開き一面において袋体を形成している。

40

取扱説明書やパンフレットの紙葉は、この袋体に収納できるようになっている。

また、折り返し片には、切り込みが形成されており、袋体は、紙葉を収納することに加えて切り込みによってディスク等の収納品を保持するようになっている。

すなわち、切り込みは、横動拘束当接縁と縦動拘束当接縁を有し、自由縁部に臨む横動拘束当接縁に収納品を当接させるとともに、縦動拘束当接縁に収納品を当接させることにより、その収納品は3方向への移動を拘束される。

折り返し片は、さらに、自由縁部において折り返しカバーを有し、切り込みに装着された収納品を覆うように折り返しカバーを折り返すと、収納品は4方向への移動を拘束される。

表紙を閉じた状態において、折り返しカバーは裏返ることがなく、ディスク用ホルダの

50

持運び中、収納品は、ディスク用ホルダ内に確実に保持される。

【0007】

また、本発明では、折り返し片により袋体を形成する場合、その折り返し片を表表紙又は裏表紙の下縁に連設し、表表紙又は裏表紙の側縁に被着しておくことが好ましい。

こうすることにより、紙葉を抜き差しする方向が表紙の上下方向となり、収納品を抜き差しする方向が表紙の左右方向となる。それぞれの物品を抜き差しする方向を異なせることにより、一方の物品を取り出す際に、他方の物品がディスク用ホルダ内から脱落しにくくなる。

また、折り返し片を表表紙又は裏表紙の縦方向長さより短くして、上縁とのど部に向けて開放させておくことが好ましい。そして、短くなった上縁に隣接して切り込みを形成しておくことが好ましい。

10

こうすることにより、折り返し片の上縁を持ち上げて、その折り返し片を歪めることにより、切り込みに収納品を容易に装着することができる。

【0008】

【実施例】

以下、図面を参照して本発明によるディスク用ホルダの実施例を説明する。

収納品の例として矩形ディスクを例示したが、本発明は、円形ディスクやそのケースにも応用することができる。

図1乃至図3は、本発明の理解を助けるための参考例となるディスク用ホルダを示し、図1は、参考例となるディスク用ホルダの展開図であり、図2は、完成した参考例となるディスク用ホルダの斜視図であり、図3はディスクを収納したディスク用ホルダの斜視図である。

20

そして、図4乃至図6は、本発明によるディスク用ホルダの実施例を示し、図4は、ディスク用ホルダの展開図であり、図5は、完成したディスク用ホルダの斜視図であり、図6は、ディスクを収納したディスク用ホルダの斜視図である。

【0009】

まず、本発明の理解を助けるための参考例となるディスク用ホルダ10は、図1に示すように、展開した状態において、実質的に、同じ形状の表表紙11と裏表紙12とがのど部13によって折り返し可能になっており、裏表紙12の下縁に折り返し片14が連設されたものである。

30

そして、このディスク用ホルダ10は、紙又はプラスチックシート等の薄いシートを打ち抜き加工して成形される。なお、折筋15は、肉厚のディスクが収納されたとき、表表紙11に皺が生じないようにマチを作るためのものである。

【0010】

折り返し片14は、裏表紙12の下縁を折筋として裏表紙12に重なるように折り返され、裏表紙12の側縁に糊付けされる。

そして、折り返し片14は、裏表紙12より僅かに幅が狭く、裏表紙12より縦方向寸法が短い。裏表紙12に被着された折り返し片14は、上縁及びのど部13側の側縁を自由縁部16として袋体を形成する。この袋体には、取扱説明書やパンフレット等の紙葉が挟み込まれる。

40

【0011】

また、前記折り返し片14には、ディスク装着用の切り込み17が形成されている。

そして、この切り込み17は、裏表紙12縦方向中央でディスクを保持でき、裏表紙12ののど部13近くでディスクを保持できる位置に形成されている。また、この切り込み17は、折り返し片14の上縁に隣接している。

さらに、前記切り込み17は、八字状の一对の切り抜き部18により構成されており、裏表紙12の側縁側の横動拘束当接縁19と、裏表紙12の上縁側及び下縁側の縦動拘束当接縁20を有している。横動拘束当接縁19は、のど部13からディスクの一边より僅かに離れた位置に設けられている。縦動拘束当接縁20は、前記一边に隣合う両辺の対向間隔で対峙離間している。

50

【 0 0 1 2 】

上記のように構成された本発明の参考例であるディスク用ホルダ 1 0 は、折り返し片 1 4 の上縁近傍に切り込み 1 7 が設けられており、その切り込み 1 7 は、容易に変形させられる。

そして、切り込み 1 7 は、ディスクを受け入れるように開口する。のど部 1 3 方向からディスクをその切り込み 1 7 に挿入すると、そのディスクは、横動拘束当接縁 1 9 に当接するとともに、縦動拘束当接縁 2 0 に挟持される。

ディスクの前記一辺に対向する一辺は、のど部 1 3 近くで、そののど部 1 3 に沿って位置決めされる。表紙を閉じると、ディスクは、4 方向で移動を拘束される。

【 0 0 1 3 】

従って、持運び中や輸送中にディスク用ホルダ内から脱落することがなく、ディスクは、表紙内に確実に保持される。

本参考例のディスク用ホルダ 1 0 は、積み重ねにも便利である。すなわち、ディスクを保持する切り込み 1 7 が表紙の縦方向中央に設けられているので、ディスク用ホルダを積層させたときに厚みのばらつきが少なく、荷崩れが生じることも少ない。

また、紙葉とディスクの挿入方向を直交させて異ならせたことにより、一方の物品を抜き差しする際、他方の物品が飛び出したり落下したりすることもなく、物品の取扱も容易である。

【 0 0 1 4 】

そこで、本発明の実施例であるディスク用ホルダ 1 0 ' について、以下に説明する。

本発明の実施例であるディスク用ホルダ 1 0 ' は、図 4 に示すように、展開した状態において、実質的に、同じ形状の表表紙 1 1 ' と裏表紙 1 2 ' とが、のど部 1 3 ' によって折り返し可能になっており、裏表紙 1 2 ' の下縁に折り返し片 1 4 ' が連設されたものである。

本発明の実施例においても、ディスク用ホルダ 1 0 ' は、紙又はプラスチックシート等の薄いシートを打ち抜き加工して成形されている。

【 0 0 1 5 】

折り返し片 1 4 ' は、裏表紙 1 2 ' の下縁を折筋として裏表紙 1 2 ' に重なるように折り返され、裏表紙 1 2 ' の側縁に糊付けされている。

折り返し片 1 4 ' は、裏表紙 1 2 ' 下縁ののど部 1 3 ' 近傍から側縁に傾斜する自由縁部 1 6 ' を有し、その幅が漸減している。

また、折り返し片 1 4 ' は、裏表紙 1 2 ' より縦方向寸法が短い。裏表紙 1 2 ' に被着された折り返し片 1 4 ' は、上縁及びのど部 1 3 ' 側の側縁を自由縁部 1 6 ' として袋体を形成している。

したがって、この袋体には、取扱説明書やパンフレット等の紙葉が挟み込まれる。

【 0 0 1 6 】

前記折り返し片 1 4 ' には、ディスク装着用の切り込み 1 7 ' が形成されている。

前記切り込み 1 7 ' は、裏表紙 1 2 ' 縦方向中央でディスクを保持でき、折り返し片 1 4 ' の自由縁部 1 6 ' でディスクを保持できる位置に形成されている。

また、この切り込み 1 7 ' は、折り返し片 1 4 ' の上縁にも隣接している。

そして、切り込み 1 7 ' は、八字状の一对の切り抜き部 1 8 ' により構成されており、裏表紙 1 2 ' の側縁側の横動拘束当接縁 1 9 ' と、裏表紙 1 2 ' の上縁側及び下縁側の縦動拘束当接縁 2 0 ' を有している。

さらに、横動拘束当接縁 1 9 ' は、のど部 1 3 ' 側の自由縁部 1 6 ' からディスクの一辺より僅かに離れた位置に設けられている。

縦動拘束当接縁 2 0 ' は、前記一辺に隣合う両辺の対向間隔で対峙離間している。

【 0 0 1 7 】

本発明の実施例は、さらに、折り返し片 1 4 ' に折り返しカバー 2 1 が一体に形成されている。

そして、この折り返しカバー 2 1 は、切り込み 1 7 ' と横方向で整列して形成されてお

10

20

30

40

50

り、折り返し片14'ののど部13'側の自由縁部16'に連設されている。

この折り返しカバー21も、表表紙11'、裏表紙12'及び折り返し片14'を成形する際に同時に成形される。

さらに、この折り返しカバー21は、のど部13'より表表紙11'側に延設されている。そして、折り返しカバー21、折り返し片14'の自由縁部16'を折筋として切り込み17'方向に折り返されたとき、裏表紙12'の領域内に位置する。

この状態において、折り返しカバー21は、切り込み17'の横動拘束当接縁19'と縦動拘束当接縁20'とに当接したディスクの少なくとも一部を覆うようになっている。

【0018】

上述したように構成された本発明の実施例であるディスク用ホルダ10'は、折り返し片14'の上縁近傍に切り込み17'が設けられており、その切り込み17'は、容易に変形させられる。

そして、切り込み17'は、ディスクを受け入れるように開口する。のど部13'方向からディスクをその切り込み17'に挿入すると、そのディスクは、横動拘束当接縁19'に当接するとともに、縦動拘束当接縁20'に挟持されている。

そして、表紙を閉じると、折り返しカバー21は、表表紙11'とともにディスク上に折り返される。

その結果、ディスクは、横動拘束当接縁19'と縦動拘束当接縁20'と折り返しカバー21とによって4方向への移動を拘束される。

【0019】

従って、持運び中や輸送中にディスク用ホルダ内から脱落することがなく、ディスクは、表紙内に確実に保持される。

本発明の実施例であるディスク用ホルダ10'は、積み重ねにも便利である。すなわち、ディスクを保持する切り込み17'が表紙の縦方向中央に設けられているので、ディスク用ホルダを積層させたときに厚みのばらつきが少なく、荷崩れが生じることも少ない。

また、紙葉とディスクの挿入方向を直交させて異ならせたことにより、一方の物品を抜き差しする際、他方の物品が飛び出したり落下したりすることもなく、物品の取扱も容易である。

【0020】

上述した本発明の実施例では、切り込みが八字状であるが、横動拘束当接縁と縦動拘束当接縁とが形成されていれば、山形状の切り抜きをディスク中心に向けて形成したのもよい。

また、折り返し片は、裏表紙に設けられているが、この折り返し片は、表表紙に設けられていてもよい。

さらに、折り返し片は、裏表紙の下縁に連設されてその側縁に被着されているが、側縁に連設されて下縁に被着されていてもよい。

【0021】

【発明の効果】

請求項1の発明では、表表紙又は裏表紙の一方の縁部に連設された折り返し片によって袋体を形成し、その袋体に紙葉を収納することができるようにし、さらに、折り返し片に収納品を保持する切り込みを設け、その切り込みに自由縁部に臨む横動拘束当接縁と離間対峙する縦動拘束当接縁を形成し、横動拘束当接縁を自由縁部から保持される収納品の長さだけ離して形成するとともに、自由縁部に収納品の少なくとも1部を覆う折り返しカバーを連設したので、表紙を閉じた状態において、横動拘束当接縁、縦動拘束当接縁及び折り返しカバーが連設された自由縁部によって収納品は移動を拘束され、簡易な構造によってディスク用ホルダ内に収納品を確実に保持収納させておくことができる。

また、表紙でなく折り返し片に切り込みを形成して収納品を保持させるので、折り返し片を歪めて収納品を容易に装着することができる。そして、その収納品は、表紙間及び折り返し片と折り返しカバーの間に挟まれるので、衝撃等からも保護される。

このディスク用ホルダは、紙やプラスチックシートのみによって構成することができ、

10

20

30

40

50

切り込みの構造及び切り込みの位置を工夫することにより収納品を確実に保持することができるので、製造コストも廉価で極めて経済的である。

【 0 0 2 2 】

請求項 2 の発明では、請求項 1 の発明が奏する効果に加えて、折り返し片を表表紙又は裏表紙の縦方向長さより短くして、短くなった上縁に隣接して切り込みを形成したので、2 辺が開放されている折り返し片は、切り込みが形成された部位において容易に歪めることができ、切り込みの収納品の装着が容易である。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 本発明の理解を助けるための参考例であるディスク用ホルダの展開図。

【 図 2 】 図 1 に示すディスク用ホルダの斜視図。

10

【 図 3 】 図 2 に示すディスク用ホルダにディスクを保持させた状態の斜視図。

【 図 4 】 本発明の実施例であるディスク用ホルダの展開図。

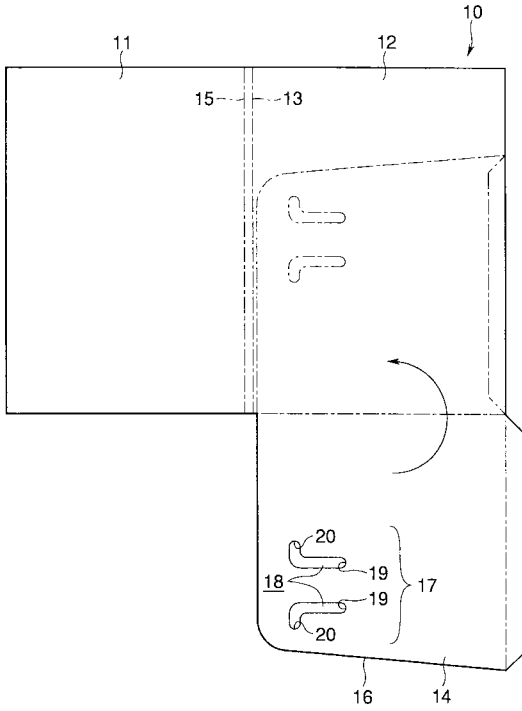
【 図 5 】 図 4 に示すディスク用ホルダの斜視図。

【 図 6 】 図 5 に示すディスク用ホルダにディスクを保持させた状態の斜視図。

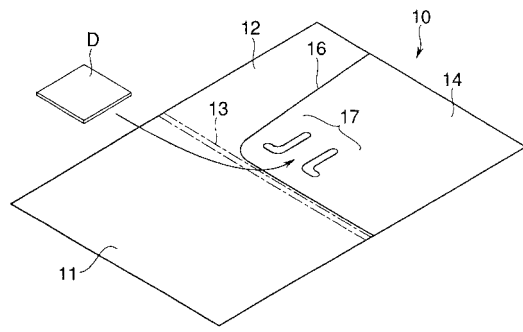
【 符号の説明 】

1 0 , 1 0 ' . . .	ディスク用ホルダ	
1 1 , 1 1 ' . . .	表表紙	
1 2 , 1 2 ' . . .	裏表紙	
1 3 , 1 3 ' . . .	のど部	
1 4 , 1 4 ' . . .	折り返し片	20
1 5 . . .	折筋	
1 6 , 1 6 ' . . .	自由縁部	
1 7 , 1 7 ' . . .	切り込み	
1 8 , 1 8 ' . . .	切り抜き部	
1 9 , 1 9 ' . . .	横動拘束当接縁	
2 0 , 2 0 ' . . .	縦動拘束当接縁	
2 1 . . .	折り返しカバー	
D . . .	ディスク (収納品)	

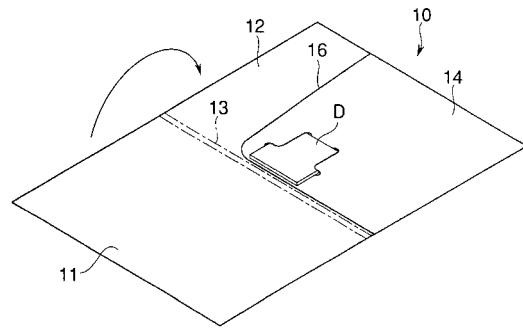
【 図 1 】



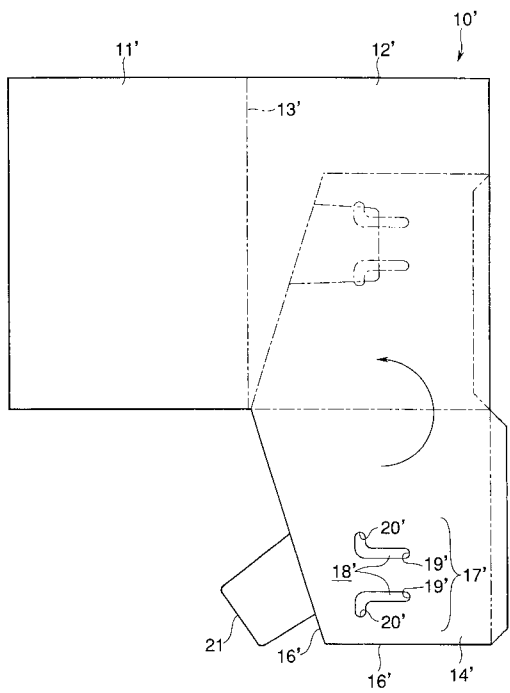
【 図 2 】



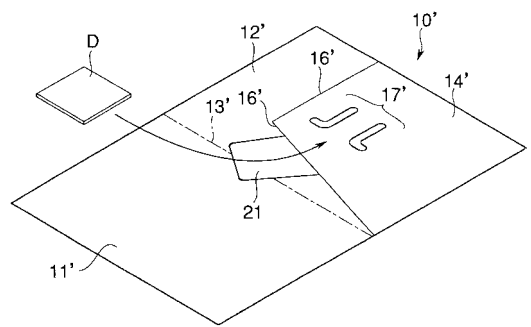
【 図 3 】



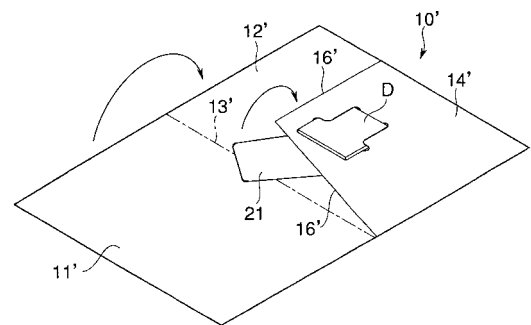
【 図 4 】



【 図 5 】



【 図 6 】



フロントページの続き

(56)参考文献 実開平01-067086(JP,U)
登録実用新案第3020604(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 85/57

B42F 7/00